

若者育成 インターン生は23年間で94名

就活支援コーディネーター

3期連続トップ当選の吉田つとむ町田市議が学生を全力支援！

吉田つとむは、どういう人物（肩書）かと言えば、就活支援コーディネーターというのが最もぴったりする言葉です。もとより、この言葉は吉田つとむの造語ですが、自分自身の姿・行動・思想を現す最も適した内容だと思っています。この就活支援コーディネーターの経験を生かして、若者育成、就職支援の取り組み実現を第一のテーマにしています。



町田市立総合体育館でスポーツ観戦（34期生の研修時のもの）



インターン生がセミナーに参加



元インターン生が就活生に体験研修



訪問見学研修

*2020～2021年の研修では、全員がマスク着用。



屋上公園で研修

吉田つとむの活動を応援いただける方は、下記の連絡先にお知らせください。

支持政党なしTOKYO都民代表

吉田つとむ

〒194-0011
町田市成瀬が丘 1-14-12
サンホワイトE103-13
TEL 042-795-7361
FAX 042-795-2726
E-mail yoshidaben@gmail.com

社会の最前線で活躍

インターン生の進路は多岐にわたる。

- 起業から東証一部上場へ押し上げる（1期生）
- 海外でフェアトレード会社を創業（6期生）
- 地方議員も誕生（2名）
- 弁護士（3名）
- 海外へ進む者も多い（アメリカ、ドイツ等）

幅広い学生さんが活動

出身校一覧（五十音順・太字は3名以上）

青山学院大	成蹊大	東京都市大学
桜美林大	成城大	東京薬科大
大原専門	専修大	東洋大
神奈川大	創価大	東洋東和女学院大
共立女子大	玉川大	日本大
慶応義塾大	津田塾大	東京女子大
国際基督教大	中央大	一橋大
恵泉女学園大	帝京短大	フェリス女学院大
駒澤大	東海大	法政大
芝浦工大	東京大	明治大
昭和女子大	東京家政大	明治学院大
首都大東京	東京外語大	立教大
上智大	東京経済大	早稲田大
白百合女子大	東京女学館大	高校生

*支持政党なしtokyo 2021年5月下旬発行

支持政党なしTOKYO NEWS

吉田つとむ

町田市議・3期連続トップ当選・第35代議長



850万回再生達成！！
吉田つとむ
発見動画チャンネル



提唱 3つの東京自治宣言

1 東京オリンピック中止

しばらく、消費税をゼロにして日本の経済を再生させよう！

2 若者育成が最優先

中高年は若者を育てることに奉仕する！

3 東京は西に発展する

新しい交通文化都市の形成
東京西部と神奈川にシフトした整備計画を。

政治姿勢の特徴

政党・業界・団体から完全に自立

良識ある保守主義



東京の明日 吉田つとむと考える。

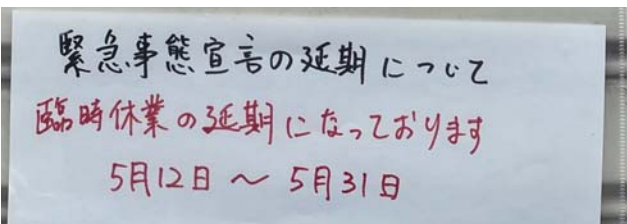
コロナ期に必要な政治家の資質とは？

自民党の暴走を止める力

一人の発言から流れを止める

緊急事態宣言が発出されても、コロナ感染は、再度、再再度の広がりを防げず、その後は変異株ウイルスの浸透が進み、その終息は一層難しくなっています。

この間の対策で、緊急事態宣言下の対象地域飲食店には、時短・休業協力に一律で6万円、次いで4万円の給付金が支給され続けました。他方で、デパートなどの業種では不要・不急の理由で補填もない状態で休業を強いられ、テナントを含めた大勢の従業員が理不尽にも苦境に落ちています。緊急対策としては、全事業所が対象になる消費税を当面ゼロとする措置を取り、経済を活性化させ、各事業者自身に活路を見出してもらうことが必須ではないでしょうか。



参考写真

迷走の小池都政を是正

東京で5月以降、1000人単位の新患が起き、どのような生活規制が必要かを巡って、新しいルールの設定が毎回混乱しています。

この混迷の一番の理由は、小池都知事が「東京オリンピック開催」を固持し、それを都議会の多数が追随し、公共交通通勤者にテレワークの強化ばかりを強いていることです。これまでの広域圏の通勤を前提とした企業と従業者にとっては死活問題でもあります。

東京都は、オリンピックを取りやめ、（例えば、無観客でも）約10万人と言われる外国人選手・関係者の入国を水際で阻止するのが直面するコロナ感染拡大の深刻化を避ける意味で、何よりも急務だと考えます。

政治の感と瞬発力

吉田つとむは、武道の先生から「力なき正義は無力なり」と教えていただきましたが、政治の世界では、その言葉がより現実にかかることだと理解しています。昨年には、市長と一体となって議員多数派が都市計画税の増税を図りました。私は、「コロナ下で増税はあり得ない、むしろ、減税だ」という立場に組みしました。その減税派は現状維持派と合体することで、増税路線の自民・民主系を分断、抑え込み、市民負担をアップさせない形の成果を得ることができました。

前任期中には、政党に属しない最少会派議員として、初めて議長に選出されました。たった一人の協力者が出た場面からスタートし、チャンスを得て、多数決で議長に選出されました。就任後は、公平な議事運営と議会の公開推進に集中して、議長任期を終えました。

それぞれの場面の教訓として、政治選択の感と瞬発力が一番重要と思っています。



支持政党なし 都民代表

吉田つとむの政治理念と強み

情報公開の力

情報公開の先頭に立つ

素朴な視点に立つ政治の実現のためには、等しく容易に、一般の人が行政情報をつかめることが大切です。そのためには、政治家がつかんだ情報を幅広く住民に提供する場をつくることが優先されるべきだと考えてきました。

吉田つとむは、議員の政務活動費使途をよりオープンにすることに務めてきました。議長時代もその取り組みを休まず、そのネット公開内容の充実を推進してきました。そうした取り組みで、町田市議会は東京都内トップの情報公開度を達成しています。他方で、閉鎖的とも言われる東京都や都議会の情報公開の改善が必要です。



吉田つとむは、政党・業界・団体（経済・労働・地域・宗教）からの組織的な応援を受けることなく、個人の住民から信頼を得て行動しています。

YouTubeでの発信

積み重ねの年数と確実な記録

「吉田つとむ発見動画チャンネル」はすでに850万再生に達していますが、日ごろの積み重ねと確実な記録を旨としています。政治の話題に限らず、インターン生同行記や地方の訪問記などを全部が手作りでアップしています。作品によっては意外にも中高校生に人気のタイプもそろっています。次の目標は、900万回再生です！

SNSにも通じる

「吉田つとむはインターネットを武器にする！」と冠したブログを始めたのが、2005年3月で、現在は2代目のワードプレスのものを使用。TwitterやFacebook、Instagramを様々に利用していますが、そのどれかを連日更新しています。それらは、日々の政治課題に関してタイムリーに考えを書ける特徴を表しています。そこで吉田つとむはいつも真剣勝負の覚悟で言葉を発信しています。また、政治的な主張、取り組みの成果はHPをベースに公表しています。

若い世代の発想を

インターンシップは政策立案の源泉に。

インターン生が作成するレポートには、若い世代（高校生・大学生など）ならではの新しい視点や柔軟な発想が盛り込まれている。それは世代を超えて政策立案の源泉になっています。

吉田つとむ自身は、若い世代の中で現在のコロナ期世代と氷河期世代において、理不尽（あるいは非条理）に就活が順調に進まなかった人たち、あるいはその後も就業がスムーズにできていない人たちを支援するのが現在政治の最重要課題と考え、東京都がそのプログラムを豊富に提供することを目標にするべきだと訴えています。